

多角的に学ぶ国際関係学

国際関係学部1期生(3回生)の学び

国際関係学部を選んだきっかけ

元々、海外に漠然とした憧れがあり、よく調べていました。その時に、海外では、明日食べる食料に困っていたり、人種差別や環境被害などの問題が起こっていることを知りました。それからそのことについてずっと考えており、そういった問題について政治や経済、環境の面から多角的に勉強できるのが京都産業大学の国際関係学部だったため、ここに入学しました。

大学生活について

国関は、他の学部比べて少人数なため、教授との関わりが深いのはもちろん、クラスがあり、学生同士の関わりも非常に深いことが特徴の学部であり、色々な人間関係ができ、毎日飽きない日々を過ごしています。



海外Field Research

研修先：オーストラリア
(パース)

現地の大学で、オーストラリアの伝統的な文化や環境問題について勉強しました。プレゼンなどで発表する機会が多く、非常に有意義でした。もちろん、英語を使ってです。



ゼミの研究テーマ

「持続可能性をめぐる
グローバル・ガバナンス」
(井口ゼミ)

昨今、SDGsが流行りになっていますが、このゼミでは、長期に渡って、現在と同じ豊かさ(環境、経済、社会的福祉)を持続可能に享受できる社会を構築するにはどうすればいいかについて研究しています。

背景には地球温暖化を初めとする、国際的な問題が明るみに出てきており、それに対処する必要があります。

現時点で分かったことは、ある一つの国際問題には、一つの解決策がある訳ではなく、様々なアプローチの仕方があり、各々個人の興味や関心で行動することが大切であるということです。